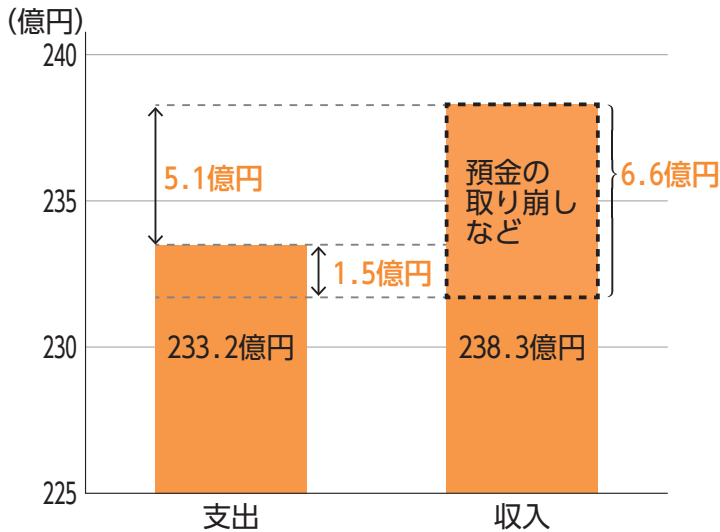


5.1億円の黒字を確保するも、 単年度では1.5億円の赤字

一般会計

市税や地方交付税などを財源に、福祉や教育など市の基本的な事業を行うための会計



令和元年度の収入は238・3億円、支出は233・2億円で、収入と支出の差し引きでは5.1億円の黒字となりました。
しかし、収入の238・3億円には、前年度からの繰越金や令和2年度に繰り越した事業の財源、市の預金である北海道市町村備荒資金組納付金などから取り崩した計6.6億円が含まれており、その分を差し引いた収入は231・7億円で、令和元年度の単年度決算としては1.5億円の赤字となりました。

支出のポイント

支出額は、前年度に比べ
25.6億円増

⑧民生費

令和元年10月から始まった幼児教育・保育の無償化などにより、前年度に比べ2.1億円(2.8%)増加しました



③土木費



千代の台団地 (新生町)

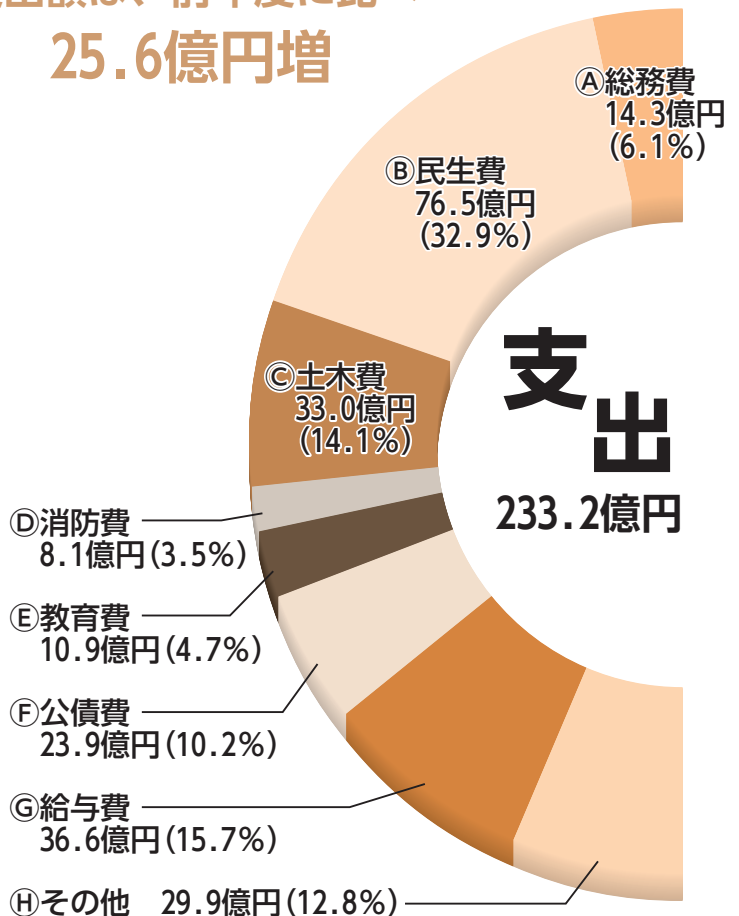
令和2年3月に供用を開始した千代の台団地(1号棟32戸)の建て替え費用などにより、前年度に比べ6.9億円(26.4%)増加しました

④消防費

令和2年10月に供用を開始する消防署東支署の建設費などにより、前年度に比べ5.6億円(225.6%)増加しました



消防署東支署 (守登別町)



●総務費…市の全般的な管理などにかかる経費のほか、戸籍や統計業務などに使ったお金 ●民生費…高齢者や子どもなどの福祉のために使ったお金 ●土木費…道路や市営住宅などの整備や維持に使ったお金 ●消防費…消防施設の整備や維持に使ったお金 ●教育費…児童・生徒の教育のほか、学校施設などの整備・運営などに使ったお金 ●公債費…借金を返済したお金 ●給与費…職員への給料や手当など